

大会に向けた科学技術イノベーションの 取組に関する基本理念等の検討について



基本理念

理念を達成するための手段

科学技術イノベーションで世界を大きく前進させる。

—成長の好循環につなげる

—大会と連携して世界の英知も引き寄せつつ日本発のイノベーションを誇示する場とする。

基本理念を達成するための手段として
ソーシャルインパクト、大会ホスピタリティ、
シェアードバリューの視点で整理する。

取組の基本的な考え方

科学技術イノベーションによる政策課題解決に向け
快適・環境・安全を基本的取組の柱として取組を加速化

タスクフォースでのアドバイス

科学技術イノベーションによる政策課題解決に向け、付加価値を高めるためのアドバイス

9つのプロジェクト

政策課題解決に向けた取組の加速化のため、9つのプロジェクトを設定

基本理念のとりまとめを検討

～第1回タスクフォースの議論から抽出された快適、環境、安全 これらを発信していくためにも上位概念を作成～

基本理念

理念を達成するための手段

科学技術イノベーションで世界を大きく前進させる。

- －成長の好循環につなげる
- －大会と連携して世界の英知も引き寄せつつ日本発のイノベーションを誇示する場とする

[発信]

広く世界へ向けた発信

ソーシャルインパクト

地球規模での課題解決に向けた、世界を驚かす日本の最先端科学技術によるイノベーション

[実証]

選手、観客の安全・快適の実現

大会ホスピタリティ (おもてなし)

地球環境とともに、大会に関わるすべての人々の安全・快適を思いはかった大会運営

[実装]

レガシーとしての地域社会システム整備

シェアード・バリュー (CSV)

社会課題の解決に向け、技術、産業、地域間が連携した、オールジャパンの価値共創

取組の基本的な考え方

I. 競技や観戦、観光を快適に楽しむためのサポート

- ①臨場感ある競技を楽しむ技術
- ②会場やその周辺の混雑対策
- ③アクセス改善等の総合交通対策
- ④プロジェクションマッピング技術等による迫力ある映像等の提供
- ⑤電子ペーパー技術による大会観戦の記念

II. 環境への負荷を軽減したクリーンな大会の実現

- ①水素バスによる無料の輸送サービス
- ②水素エネルギー等の最新省エネ技術、燃料電池技術等を会場や選手村等のエネルギーに実験的に活用

III. 選手・観客・来訪者の安全性の確保

- ①動線全体を見据えたアリアフリー対策
- ②ピンポイントでの位置把握
- ③高温多湿な日本の暑さへの対策
- ④車間距離を自動的に調整する技術
- ⑤サイバーセキュリティの強化

第1回タスクフォースでのアドバイス

- ロボット技術によるサービス提供、おもてなし（空港での出迎え、癒しの提供、パラリンピアンとの融合、聖火ランナーへの利用等）
- 情報網整備、情報発信：
- サイバーフィジカルシステムによる様々なプロジェクトの一体的な取組

9つのプロジェクト

PJ①

PJ②

PJ③

PJ④

PJ⑤

PJ⑥

PJ⑦

PJ⑧

PJ⑨